



管理栄養学部実験棟 [管理栄養学科]

研究室や実験専用室など、研究機関で実際に使用されている最新機器を完備した、全国屈指の実験・実習環境。授業だけでなく、卒業研究のスペースとして学生が自由に使い、自身の濃い研究ができるようサポートしている。

動物飼育・解剖室 [管理栄養学科]

タンパク質の栄養価値を判定するために、2年次にラットやマウスを用いた本格的な臨床実験を行う。その実験動物を飼育するための空間であり、他大学では例を見ない規模を誇る。コンピュータ制御により快適な温度・湿度が保たれ、紫外線殺菌ランプも完備している。



食品学実験室 [管理栄養学科]

2年次の食品学実験Ⅰ、3年次に食品学実験Ⅱを行う実験室。食品の分析・加工および微生物実験を通して食品に対する理解を深める目的で行われる。

食品加工実験室 [管理栄養学科]

食品加工による成分変化を化学的に解析するため、パン、豆腐、味噌、缶詰などを実際にするための実験室。



給食経営管理実習室 [管理栄養学科]

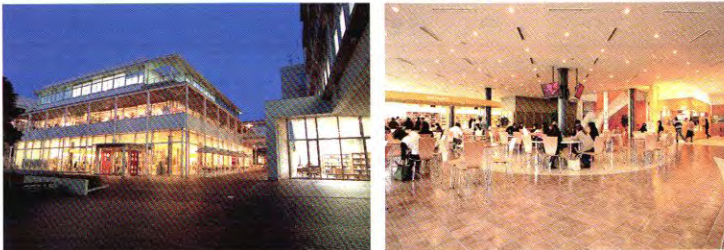
管理栄養士・栄養士・調理師の役割分担をし、献立作成、材料の点検、調理、後片付け、さらに栄養教育や嗜好調査などを行う。給食管理実習の授業で使用。



コミュニケーションプラザ

まるで大学とは思えない、スタイリッシュな建物。ここが、新たに誕生したコミュニケーションプラザだ。

書店、カフェ、インターネットコーナーなど、学生生活をより快適に、より楽しくする多彩な施設があり、いつも学生たちのにぎやかな声があふれている。



キャンパス散策(名古屋学芸大学 名古屋学芸大学短期大学部)

平成14年4月に開学した本学は、学校法人中西学園を母体とし、同キャンパス内に名古屋外国語大学と名古屋学芸大学短期大学部(旧名:愛知女子短期大学、平成16年4月より校名変更)を併設しています。名古屋学芸大学は、医療現場での活躍も視野に入れ、既存の専門ノウハウの枠を超える高度な知識と技術を備えた管理栄養士を育成する「管理栄養学部」、生活を彩る豊かな感性と創造力を持ったクリエイターを養成する「メディア造形学部」、医療・心理・栄養の知識を兼ね備えた子どもケアの専門家を育む「ヒューマンケア学部」(平成17年4月開設予定)の3学部を設置し、3つのベクトルで、人間の身体と心の健全な発達および、豊かな暮らしづくりに貢献する人材育成に取り組んでいます。各学部とも臨床や実践的な研究学習を重視しており、時代のニーズに応える最先端の研究学習を展開しています。さらに、最新の施設・設備の導入や、従来の“専門”という枠を超えた科目配置、研究学修成果を高めるカリキュラムづくりを行い、これからの実社会が求める生きた力を育てていきます。

また、同短期大学部は、『人間教育と実学』の理念に基づき、実践的な知識や技術を磨く教育と、社会人としての豊かな人間性を養う教育に力を注ぐ、言語コミュニケーション学科、ビジネス情報学科、生活科学科の3学科8コースからなり、実社会で活躍できるスペシャリストを養成します。特に、社会のグローバル化、情報化に対応するための教育プログラムを充実、また、語学力・国際感覚を磨くために、全学科ネイティブスピーカーによる「オーラルコミュニケーション」や、IT社会の必須条件ともいえるコンピュータリテラシーなどを必修科目とするなど、時代のニーズに対応できる人間を育成する環境を整えています。



キャンパス全景



メディア造形学部棟

映像メディア学科・デザイン学科・ファッション造形学科が使用する数々の実習室と教室が集約されている。サウンド編集室、撮影スタジオ、マルチメディアコンピュータ実習室など、マルチメディアに対応した各施設には、プロのクリエイターが使う高性能な設備が整う。2004年4月には、隣接して新メディア造形学部棟が誕生し、創造空間はいつそうの進化をし続けている。

サウンド編集室 [映像メディア学科]

天井高6mのレコーディング・ブースとフルデジタルのオーディオ・ワークステーションを持つ本格的なレコーディング・スタジオ。プロフェッショナルレベルの高いクオリティのレコーディング、サウンド編集、ミキシング&マスタリング、音響エンジニアリングなど実践的な技術が学べる。



撮影スタジオ [映像メディア学科]

写真と映画どちらにでも使える100㎡のスタジオ。国内外の有名スタジオの設計思想が随所に取り入れられ、プロフェッショナルの仕事にも十分対応できる環境である。



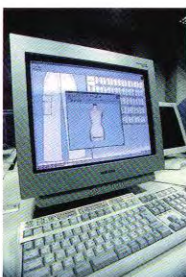
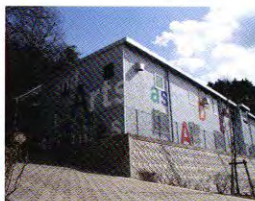
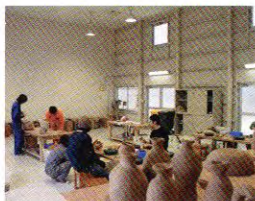
マルチメディアコンピュータ実習室 [デザイン学科]

Power Mac G4やWindows系のハイ・パフォーマンスのPCを導入。平面、立体の様々なデザイン制作を行うため、ソフトウェアはドロー系、ペイント系、Web系、CG系など多数完備。また、作成した画像や撮影した実写などで映像などの制作も行う。

メディア造形学部工房棟

[デザイン学科]

金型工室、陶芸室、塗装室、金工室、クレイモデル室、版画室、シルクスクリーン室があり集中講義、専門過程における実習室として使われる。



ファッション造形CAD室 [ファッション造形学科]

業界で最も評価されているデザインシミュレーション・ソフトを使い、バーチャルコーディネートやパターンメイキングなどを行い、創造性と実践力を養う。

デジタルメディア室

[ファッション造形学科]

国内外のアパレルメーカーが導入している最先端の捺染機を導入。他大学では見られない設備であり、染色デザインの授業やゼミで本格的な製品製作に取り組む。

